ヴァイン

超微細気泡で汚れ洗浄

シャワーヘッド商品化

美容院など PR強化　年10万個販売へ

健康関連機器メーカーのヴァイン（本社名古屋市名東区藤森二ノ二六六、近藤宏行社長、電話052・774・3681）は、汚れ分子を吸着する性能を持つ超微細気泡「マイクロバブル」の発生装置をシャワーヘッドとして商品化し、発売した。美容院などへ業務用として売り込む。洗浄力に優れているほか、通常のシャワーに比べ二割ほど節水できるのが特徴。今月末には、一般消費者向けの市販品も発売する予定で、年間十万個の売り上げを目標としている。（大林美佳）

マイクロバブルは、直径0・01ミリほどの微細な泡。表面がマイナスに帯電しているため、プラスの電位を帯びている汚れや垢を吸着する性質を持つ。水と空気の混合により発生する。

同社が発売したシャワーヘッド「バブルマーメイド」は、本体内部を通過する水を高速回転させ、その回転させた水に空気を混合させることで、微細な気泡を大量に発生させる仕組み。現在、特許を出願中だ。

汚れの洗浄に優れているほか、髪や肌への保湿効果、二割程度の節水が期待できる。空気を水に溶け込ませるため、高圧ポンプなど高額な設備投資が不要となり、低価格生産が可能になった。開発段階では二万円程度を想定していたが、業務用で九千五百円と、低価格化に成功。これまでドライヤーなどを販売していた美容院を販路として売り込む。

今月末には一般向けのシャワーヘッド（一万四千八百円程度を想定）を販売する予定で、美容院や量販店、ホームセンター向けに販売する。今後の展開として、美顔器などへの応用も視野に入れている。

業務用（写真左）と市販用の2種類を売り出す

多文化共生社会実現へ

県国際交流協 来月19日に推進講座

財団法人愛知県国際交流協会は八月十九日午前十時半から、豊橋市松葉町の市民センターで、多文化共生の理解を深めてもらう講座「多文化共生社会地域づくり―教育の視点から―」を開講する。参加無料。定員八十人。

県内に居住する外国人は二十万人を超え、三十人に一人が外国人という状況を迎えている。国籍や文化が異なる環境で暮らす外国人と共生するには、何が必要かを「教育」を通じて考える。東京学芸大学の佐藤郡衛教授が「今、在住外国人に対して何ができるのか」をテーマに基調講演した後、豊橋市教育委員会外国人児童生徒教育相談員の築樋博子氏が「やってみよう！　外国人児童生徒への日本語指導」と題して話す。

問い合わせは、県国際交流協会（電話052・961・1409）まで。

OSHMSを指南

名古屋市 9月に労務セミナー

名古屋市は九月二十六、二十七の両日、名古屋市千種区吹上二の名古屋市中小企業振興会館で「労働安全衛生マネジメントシステム構築セミナー」を開催する。

以前は過去に起きた災害の再発防止が労働安全衛生管理だったが、事前に業務の中に潜在する危険を洗い出し、予防するのが新しい考え方。厚生労働省の労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）に導入企業の平水準のアドバイスをするという。セミナーでOSHMSを解説するほか、演習によるセスメントを実践的に学ぶ。安全衛生コンサルの花井健夫氏。三千円。

問い合わせは、名古屋市中小企業振興会（電話052・2100）まで。

パワーポイント手法学ぶ

名古屋ソフトセンター（名古屋市山五ノ一）は二十四日間、同センター「Powerpoint による図解手法」を

がん治療の最前線紹介

愛知県

愛知県は八月二十六日午後一時から、東浦町のあいち健康プラザで「ここまできた最先端がん治療」をテーマに粒子線治療講演会を開催する。入場無料だが、事前申し込みが必要。

愛知診断治療技術振興財団理事の田中良明理事が「わが国における粒子線がん治療の現